

第2期金山町総合戦略KPI達成度

基本目標	指標	目標値 A		実績値					達成度算出参考数値 B	達成度 B/A(%)	評価	担当課	
				2年度	3年度	4年度	5年度	6年度					累計
数値目標	地域資源を活かした新たな就業・雇用者数	10	人(累計)	0	0	0	1	1	2	2	20.0	D	商工観光
	要因分析	現状と課題					今後の取組						
	要因分析	令和5年度にカスミソウ、令和6年度に赤カボチャなど地域資源を活かした事業に就業した方もいるが、現状まだまだ目標値には届いていない。					引き続き、地域おこし協力隊制度を活用しながら、農林水産業を支える人材の確保に努める。						
	製造品出荷額等	130	十万円(最終年度)	108.3	116.9	163.5	161.4	140.7	690.8	140.7	108.2	A	商工観光
要因分析	現状と課題					今後の取組							
要因分析	町関連施設における赤カボチャ、エゴマ油、アザキ大根、マコモタケの販売額について目標は達成しているが、生産者の確保が課題である。					元気な高齢者の生きがいがづくりになっている。退職帰農者など次の世代や若い世代を増やす必要がある。							
重要業績評価指標(KPI)	特産品赤カボチャの品質向上率(合格率)	70	%(最終年度)	65.8	62.6	64.3	75.4	65.4		65.4	93.5	B	農林
	要因分析	現状と課題					今後の取組						
	要因分析	生産者協議会からの種配布、土壌検査による施肥設計に基づく肥培管理をするなど良質の赤カボチャを生産している。令和5年度に目標を達成したが、令和6年度は、成熟する期間が通年よりも長くなったことや病気が原因で低下した。					気象変化による赤カボチャの成熟度の変化、輪作ができないので、連作による病気の予防対策を今後も継続して行う。定期的な栽培指導を継続していく。						
	特産品ふるさと納税返礼者数	500	人(最終年度)	588	664	637	1,197	1,278	1,278	1,278	255.6	A	企画
	要因分析	現状と課題					今後の取組						
	要因分析	ふるさと納税サイト数の増加に伴い、寄附者の増加につながった。年間を通して対応できる返礼品が少ない。また、米の需要はあるが、年間の安定供給が難しい。					ふるさと納税サイトを増やす取組を継続して実施していくこと、返礼品の数の確保に努める。						
	東京圏からの移住による町内企業就職者数	5	人(累計)	3	4	3	1	2	13	13	260.0	A	企画
	要因分析	現状と課題					今後の取組						
	要因分析	東京圏からの移住者も増加傾向にあり、町全体の社会増減は、近年増加になっている。さらに東京圏に向けて町の情報を発信する必要もある。					移住イベント年5回、就農イベント年2回程度参加しているので、引き続き参加をして、移住者の呼び込みに努めるとともにSNSを活用した情報発信により、多くの人に情報を届ける。						
	新たな資格取得者	10	人(累計)	7	1	7	4	3	22	22	220.0	A	企画
要因分析	現状と課題					今後の取組							
要因分析	除雪オペレーターとしての大型特殊自動車、霧幻峡で舟を漕ぐための小型船舶免許、建設事業に携わるための大型自動車免許を取得する方が多い。様々な業種での人手不足が課題である。					町内の人手不足を補うため、今後も継続した取組を目指したい。							
新たな起業件数	3	件(累計)	1	4	4	2	3	14	14	466.7	A	商工観光	
要因分析	現状と課題					今後の取組							
要因分析	新規起業支援事業補助金を活用した起業件数で、主に商工業者の件数であるが、事業効果を検証する必要がある。					町内での起業について、継続した取組を行っていきたい。							
地域おこし協力隊受入者数	8	人(累計)	1	1	0	2	0	4	4	50.0	D	企画	
要因分析	現状と課題					今後の取組							
要因分析	地域おこし協力隊は、5分野で募集しており、観光振興と地域産業継承で応募がない状況があり、目標に届いていない。募集情報の発信を継続しながら、新たな募集形態を模索する必要がある。					令和6年度より、地域おこし協力隊インターン生の募集など、新たな協力隊確保に向けた取組をしながら、確保に努める。							

後継者を育成し、特色を活かした産業をつくる

第2期金山町総合戦略KPI達成度

基本目標	指標	目標値 A		実績値					達成度算出参考数値 B	達成度 B/A(%)	評価	担当課	
				2年度	3年度	4年度	5年度	6年度					累計
数値目標	観光施設入込客数	230,000	人(最終年度)	143,446	146,531	183,582	187,218	188,329	188,329	188,329	81.9	B	商工観光
	要因分析	現状と課題						今後の取組					
		道の駅、せせらぎ荘、沼沢湖の利用者は増加しているが、スキー場の入込客数が減少している。スキー場の利用者の増加が課題						スキー場の利活用が課題であるが、スキー大会を継続しながら、利用者拡大に向けた取組に努める。					
	UIJ(移住)ターン者数	60	人(累計)	18	29	7	23	16	93	93	155.0	A	企画
	要因分析	現状と課題						今後の取組					
		令和4年度に移住支援センターが開設され、令和6年度には、移住定住の相談が78件、空家の紹介件数も17件あり、移住者の増加に繋がっている。						継続した取組を今後も実施し、移住者の増加を図るため、集落の教科書づくりを進め、移住しやすい環境整備に努める。					
地域みらい留学生徒数	40	人(累計)	2	7	11	7	12	39	39	97.5	B	教育	
要因分析	現状と課題						今後の取組						
	県内遠方、県外からの川口高校への入学者は、一定の効果があるが、引き続き入学者の確保が課題						町内での就職を目指した事業展開を実施していきたい。						
重要業績評価指標(KPI)	道の駅振興施設来場者数	160,000	人(最終年度)	104,062	106,481	136,186	136,841	138,235	138,235	138,235	86.4	B	商工観光
	要因分析	現状と課題						今後の取組					
		只見線が再開通し、台湾からの誘客の影響で令和4年度以降、利用者が増加した。外国人観光客向けの観光案内を充実させることが課題						今後、国道289号八十里越えの開通やインバウンドなど、さらなる誘客に向けて事業を展開していきたい。					
	UIJターンのうち49歳以下の人数	30	人(累計)	12	10	2	11	6	41	41	136.7	A	企画
	要因分析	現状と課題						今後の取組					
		移住者の増加に伴い、49歳以下の方も増えてきている。移住定住イベントや就農イベントをきっかけに定住に結びついている方もいる。						今後も移住支援センターとの連携、移住定住イベント、就農イベント等を活用しながら、進めていきたい。					
	地域の魅力発信ファン人数	5,000	人(累計)	618	408	897	2,061	2,218	6,202	6,202	124.0	A	企画
	要因分析	現状と課題						今後の取組					
		ファンの数も年々増加し、令和6年度は10,000人を超えている。投稿数は年間800件以上投稿している。委託料の財源確保が課題						年々、Facebookのファンの数や動画再生数も伸びているので、財源確保を目指しながら、継続していきたい。					
	地域課題解決大会参加者数	18	人(累計)	0	0	0	7	5	12	12	66.7	C	教育
	要因分析	現状と課題						今後の取組					
		令和5年度より実績がある。高校生が町の政策提言に挑戦し、地域への理解や興味・関心を深められている。地域との繋がりを多くしていくのが課題						湖水まつりで実施した川高CAFÉなど、生徒たちが考えた事業を実践していくことを継続していきたい。					
地域から高校への応援者数	50	人(累計)	6	1	1	3	2	13	13	26.0	D	教育	
要因分析	現状と課題						今後の取組						
	学生寮と生徒たち、地元住民との関わり合いが少ないので、増やす手段が課題						若桐祭や川高CAFÉ、寮生によるイベントを通した中で地元住民との関わり合いや参加を進めていきたい。						
卒業後も地元に関わった大学生数	10	人(累計)	0	0	3	3	2	8	8	80.0	B	教育	
要因分析	現状と課題						今後の取組						
	メンバーの増加を図るため、OBやOGのネットワーク化を図り定期的に学校や町の情報発信をし、関心を持ち続ける仕組みづくりをしてきた。						進学相談会など、イベントの案内をOBやOGにしていく。						
高校へのふるさと納税応援者数	60	人(累計)	9	30	22	34	61	156	156	260.0	A	企画	
要因分析	現状と課題						今後の取組						
	高校を核とした新たな人づくり・人の流れづくりプロジェクト事業など地域みらい留学の影響もあり、応援者数の増加に繋がっている。						継続した取組により、川口高校を応援し、SNSを活用した情報発信も強化し、多くの人に高校を知ってもらえるよう努める。						

つながりを築き、新しいひとの流れをつくる

重要業績評価指標(KPI)

第2期金山町総合戦略KPI達成度

基本目標	指標	目標値 A		実績値						達成度 算出参 考数値 B	達成度 B/A(%)	評価	担当課
				2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	累計				
子育てしやすい環境をつくる	出生数	8人(平均)		4	5	2	5	6	4	4	55.0	D	住民
	要因分析	現状と課題						今後の取組					
		町の人口構成において、若い世代が少ないこと、若い世代同士の交流が少ない為、婚姻数が目標値に達していないことが要因として考えられる。						将来人口2050年に人口を1,000人程度を目指すためには、年間の出生者数を8人以上が必要なため、町の支援制度の継続や若い世代の移住定住の推進も図りたい。					
	子育て世帯数	80世帯(最終年度)		68	62	60	57	64	64	64	80.0	B	住民
	要因分析	現状と課題						今後の取組					
		社会増減率は、増加に転じているものの、婚姻数が伸びていないため、子育て世帯数も目標に達していない。個々の意思を尊重する時代であることなど様々な要因を背景に婚姻が難しい時代となっていると思われる。						現在実施している子育てや医療に関する補助、支援制度を継続しながら、子育て世帯の応援に努めたい。					
	婚姻組数	25組(累計)		1	5	3	4	1	14	14	56.0	D	企画
	要因分析	現状と課題						今後の取組					
		個々の意思を尊重する時代であることを背景に結婚を希望していない人、経済的な事情、いい出会いがないなど様々な要件があると思われる。また、仲人をしてくれる方、お見合いが昔よりも減少しているなども要因もある。						婚姻に伴う町の支援制度の案内や結婚を希望される方に対しては、はび福なびなど結婚子育て応援センターの登録を進める。					
	児童・生徒に対する体験学習等の開催件数	50回(累計)		8	2	7	7	8	32	32	64.0	C	教育
要因分析	現状と課題						今後の取組						
	開催件数は、目標に届かないものの、各回ごとの参加人数は、定員を満たしている。他の行事や事業との兼ね合いもあり、体験学習等の開催件数を増やすことや日程確保が課題						体験学習を開催することで児童や生徒の積極性や協調性、コミュニケーション力、他者理解、感性等の豊かな心の育成につながるので、事業を継続していきたい。						

数値目標

重要業績評価指標(KPI)

第2期金山町総合戦略KPI達成度

基本目標	指標	目標値 A	実績値					達成度算出参考数値 B	達成度 B/A(%)	評価	担当課	
			2年度	3年度	4年度	5年度	6年度					累計
健康で安心して暮らせる環境をつくる 重要業績評価指標（KPI）	介護保険要介護率	20.0%(最終年度)	21.0	21.5	22.7	23.7	23.2		23	86.2	B	福祉
	要因分析	現状と課題 重症化しないように介護予防につとめているが、高齢化率が高くなっていることに伴い、要介護認定率も高くなってきている。					今後の取組 令和6年度、要介護3以上の方は、約45%で要支援から要介護2までの比較的軽度の方は約55%なので、今後も予防介護に努め、重症化を減らせるように対応していきたい。					
	空き家数	270軒(最終年度)	282	292	287	296	290		290	93.1	B	企画
	要因分析	現状と課題 令和5年住宅土地統計調査で福島県全体の空き家数は、平成30年度から令和5年度を比較すると6.1%増加しているが、町は、5年間で約3%の増加のため、空き家対策の補助制度が有効に活用されていると考えられる。					今後の取組 今後も空き家は増加すると思われるので、補助制度を周知しながら、利活用や解体を進めていきたい。					
	総合検診受診率	65.0%(最終年度)	48.2	76.2	75.4	71.2	61.2		61	94.2	B	保健
	要因分析	現状と課題 令和6年度は、令和5年度より約40人受診者が減少した。定期的に医療機関で受診をし、検査している方もいるため、総合健診の受診率は伸びない。					今後の取組 町保健師が医療機関と連携しながら、町民宅を訪問し、健康管理に努めているので、今後も継続していきたい。					
	人間ドック受診率	50.0%(最終年度)	36.8	27.6	37.5	42.0	33.0		33	66.0	C	保健
	要因分析	現状と課題 受診勧奨に努めているが、町外の病院に行く必要があるため、受診率は向上しない。					今後の取組 3年に1度の受診については、今後も継続した受診案内に努めながら、受診率の向上に努めたい。					
	空き家バンク登録件数	80件(最終年度)	31	36	43	55	59		59	73.8	C	企画
	要因分析	現状と課題 固定資産税の納税通知や課税明細書の送付時に空き家バンクの案内のチラシを配布している。空き家についてのアンケート調査で、全回答者の25%は空き家バンク制度を知らないと回答されたので、周知の工夫していきたい。					今後の取組 空き家バンク制度を知らない人もいるので、案内文書の工夫をしていながら、継続して対応していく。					
空き家バンクマッチング件数	15件(累計)	2	5	2	6	3	18	18	120.0	A	企画	
要因分析	現状と課題 令和4年度に移住支援センターを開設し、5年度、6年度合計で9件マッチングをした。移住支援センターからのLINEでのお知らせや町ホームページでの案内など地道な努力により目標を達成したと思われる。					今後の取組 継続した取組により、空き家の利活用を進めていきたい。						
乗合タクシー利用登録者数	50人(累計)	7	10	6	5	10	38	38	76.0	C	総務	
要因分析	現状と課題 人口減少により、利用者も少なくなっている。					今後の取組 高齢者の免許返納後の報償の取組などを継続したい。						

【参考】

	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度		
※ 人口(住民基本台帳8/1現在)	1,948	1,892	1,824	1,789	1,765	令和4年度より社会増減率(転入者数が転出者数を上回る。)が増加に転じている。令和5年1.63(県内1位)、令和6年1.35(県内1位)で、これまでの様々な取組が結果に反映されていると思われる。	住民
前年度からの減少数		-56	-68	-35	-24		
前年度からの減少率		-2.9	-3.6	-1.9	-1.3		
※ 高齢化率(住民基本台帳8/1現在)	60.77	61.36	61.82	61.66	61.28		